

〔別 紙〕

様式 1

242

事業報告書

(自 令和 4 年 4 月 1 日 至 令和 5 年 3 月 3 1 日)

1 医療法人の概要

(1) 名 称 医療法人並木会

① ☐ 財団 ☒ 社団 (☒ 出資持分なし ☐ 出資持分あり)

② ☐ 社会医療法人 ☐ 特定医療法人 ☐ 出資額限度法人
☒ その他

③ ☐ 基金制度採用 ☒ 基金制度不採用

注) ①から③のそれぞれの項目 (③は社団のみ。) について、該当する欄の口を塗りつぶすこと。(会計年度内に変更があった場合は変更後。)

(2) 事務所の所在地 愛知県名古屋市中白区荒池二丁目 1 1 0 1 番地

注) 複数の事務所を有する場合は、主たる事務所と従たる事務所を記載すること。

(3) 設立認可年月日 (昭和)・平成・令和 5 9 年 2 月 2 0 日

(4) 設立登記年月日 (昭和)・平成・令和 5 9 年 2 月 2 4 日

(5) 役員

	氏 名	備 考
理 事 長	並木 一代	並木クリニック管理者
理 事	恵美 宣彦	並木病院管理者
同	加藤 忠	介護老人保健施設メディコ阿久比管理者
同	渋谷 正人	介護老人保健施設メディコ春日井管理者
同	堀口 祐爾	介護老人保健施設メディコ守山管理者
同	津下圭太郎	介護老人保健施設メディコ平針管理者
監 事	浦 賢治	
同	長谷川和重	

注) 1. 「社会医療法人、特定医療法人及び医療法第 4 2 条の 3 第 1 項の認定を受けた医療法人」以外の医療法人は、記載しなくても差し支えないこと。

2. 理事の備考欄に、当該医療法人の開設する病院、診療所又は介護老人保健施設 (医療法第 4 2 条の指定管理者として管理する病院等を含む。) の管理者であることを記載すること。(医療法第 4 7 条第 1 項参照)

3. 評議員の備考欄に、評議員の選任理由を記載すること。(医療法第 4 9 条の 4 参照)

2 事業の概要

(1) 本来業務 (開設する病院、診療所又は介護老人保健施設 (医療法第 4 2 条の指定管理者として管理する病院等を含む。) の業務)

種 類	施設の名称	開 設 場 所	許可病床数
病院	医療法人並木会 並木病院	愛知県名古屋市中白区 荒池二丁目1101番地	地域77床 53床 療養病床 159床
診療所	医療法人並木会 並木クリニック	愛知県名古屋市中南区 内田橋二丁目10番22番地	
介護老人 保健施設	並木会介護老人保健施設 メディコ阿久比	愛知県知多郡阿久比町 大字草木字盗人ヶ脇15番地の1	入所定員 214名 通所定員 35名
	並木会介護老人保健施設 メディコ春日井	愛知県春日井市坂下町 五丁目1221-1	入所定員 141名 通所定員 48名
	並木会介護老人保健施設 メディコ守山	愛知県名古屋市中山区 日の後301番地	入所定員 100名 通所定員 35名
	並木会介護老人保健施設 メディコ平針	愛知県名古屋市中白区 荒池二丁目1201番地	入所定員 100名 通所定員 40名

- 注) 1. 地方自治法第244条の2第3項に規定する指定管理者として管理する施設については、その旨を施設の名称の下に【 】書で記載すること。
2. 療養病床に介護保険適用病床がある場合は、医療保険適用病床と介護保険適用病床のそれぞれについて内訳を[]書で記載すること。
3. 介護老人保健施設の許可病床数の欄は、入所定員及び通所定員を記載すること。

(2) 附帯業務（医療法人が行う医療法第42条各号に掲げる業務）

種類又は事業名	実 施 場 所	備 考
訪問看護ステーション平針なみき	愛知県名古屋市中白区 荒池二丁目1101番地	
訪問看護ステーション内田橋なみき	愛知県名古屋市中南区 内田橋二丁目4番3番地	
ケアプランセンター平針なみき	愛知県名古屋市中白区 荒池二丁目1217番地	
ケアプランセンター内田橋なみき	愛知県名古屋市中南区 内田橋二丁目10番22番地	
ケアプランセンターメディコ阿久比	愛知県知多郡阿久比町 大字草木字盗人ヶ脇15番地の1	
ケアプランセンターメディコ春日井	愛知県春日井市坂下町 五丁目1221-1	
ケアプランセンターメディコ守山	愛知県名古屋市中山区 日の後502番地 1A	
ヘルパーステーション平針なみき	愛知県名古屋市中白区 荒池二丁目1217番地	

ヘルパーステーション内田橋なみき	愛知県名古屋市南区 内田橋二丁目4番3番地	
ヘルパーステーションメディコ守山	愛知県名古屋市守山区 日の後502番地 1A	
グループホームほっと館なみき	愛知県名古屋市南区 内田橋二丁目4番3番地	

注) 地方公共団体から委託を受けて管理する施設については、その旨を施設の名称の下に
【 】書で記載すること。

- (3) 収益業務（社会医療法人又は医療法第42条の3第1項の認定を受けた医療法人が行うことができる業務）

種 類	実 施 場 所	備 考

- (4) 当該会計年度内に社員総会で議決又は同意した事項

令和 4年 5月23日	令和3年度事業報告の承認、決算・余剰金の承認 社員の退社について
令和 4年10月31日	並木クリニック等の事業廃止に係る契約締結について
令和 5年 3月 1日	社員死去による退社 並木クリニックの管理者変更
令和 5年 3月 2日	理事長の選任
令和 5年 3月14日	令和5年度の事業計画及び収支予算の決定
〃	令和5年度の借入金額の最高限度額の決定
〃	メディコ平針の管理者変更、及び理事の選任承認

注) (5)、(6)については、医療機関債を発行又は購入する医療法人が記載し、(7)以下については、病院又は介護老人保健施設を開設する医療法人が記載し、診療所のみを開設する医療法人は記載しなくても差し支えないこと。

- (5) 当該会計年度内に発行した医療機関債

注) 医療機関債の発行総額、申込単位、申込期間、利率、払込期日、資金使途、償還の方法及

び期限を記載すること。なお、発行要項の写しの添付に代えても差し支えない。

医療機関債を医療法人が引き受けた場合には、当該医療法人名を全て明記すること。

(6) 当該会計年度内に購入した医療機関債

注) 1. 医療機関債を購入する医療法人は、医療機関債の発行により資産の取得が行われる医療機関と同一の二次医療圏内に自らの医療機関を有しており、これらの医療機関が地域における医療機能の分化・連携に資する医療連携を行っており、かつ、当該医療連携を継続することが自らの医療機関の機能を維持・向上するために必要である理由を記載すること。

2. 購入した医療機関債名、発行元医療法人名、購入総額及び償還期間を記載すること。

なお、契約書又は債権証書の写しの添付に代えても差し支えない。

(7) 当該会計年度内に開設（許可を含む）した主要な施設

(8) 当該会計年度内に他の法律、通知等において指定された内容

注) 全ての指定内容について記載しても差し支えない。

(9) その他

注) 当該会計年度内に行われた工事、医療機器の購入又はリース契約、診療科の新設又は廃止等を記載する。(任意)

様式 3-1

法人名 医療法人 並 木 会

※医療法人整理番号

242

所在地 名古屋市天白区荒池二丁目1101番地

貸 借 対 照 表

(令和 5 年 3 月 3 1 日現在)

(単位：千円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
I 流 動 資 産	3,146,218	I 流 動 負 債	517,754
現金及び預金	2,093,641	買 掛 金	49,924
事業未収金	900,271	未 払 金	162,209
たな卸資産	45,416	未 払 費 用	964
前 払 費 用	11,216	未 払 法 人 税 等	85,471
未 収 入 金	45,314	未 払 消 費 税 等	3,015
未 収 収 益	11,719	預 り 金	32
繰延消費税等	37,996	賞 与 引 当 金	197,174
その他の流動資産	645	その他の流動負債	18,965
II 固 定 資 産	7,519,700	II 固 定 負 債	1,071,640
1 有 形 固 定 資 産	4,228,002	預 り 保 証 金	1,700
建 物	1,995,029	退職給付引当金	697,025
構 築 物	35,982	役員退任慰労引当金	372,915
医療用器械備品	29,326	その他の固定負債	0
その他の器械備品	76,112		
車両及び船舶	12,960		
土 地	2,078,594		
建設仮勘定	0	負 債 合 計	1,589,394
その他の有形固定資産	0	純 資 産 の 部	
2 無 形 固 定 資 産	76,649	科 目	金 額
ソフトウェア	74,392	I 積 立 金	9,076,524
その他の無形固定資産	2,258	設立等積立金	55,000
3 その他の資産	3,215,048	別 途 積 立 金	100,000
長期預金	2,950,000	繰越利益積立金	8,921,524
出 資 金	20		
長期前払費用	1,094	III 評 価 ・ 換 算 差 額 等	0
保 証 金	38,011	その他有価証券評価差額金	0
保険積立金	220,320	繰延ヘッジ損益	0
その他の固定資産	5,603		
		純 資 産 合 計	9,076,524
資 産 合 計	10,665,918	負債・純資産合計	10,665,918

(注) 1. 表中の科目について、不要な科目は削除しても差し支えないこと。また、別に表示することが適当であると認められるものについては、当該資産、負債及び純資産を示す名称を付した科目をもって、別に掲記することを妨げないこと。

2. 社会医療法人及び特定医療法人については、純資産の部の基金の科目を削除すること。

3. 経過措置医療法人は、純資産の部の基金の科目の代わりに出資金とするとともに、代替基金の科目を削除すること。

法人名 医療法人 並 木 会

※医療法人整理番号

242

所在地 名古屋市天白区荒池二丁目 1 1 0 1 番地

損 益 計 算 書
(自 令和 4 年 4 月 1 日 至 令和 5 年 3 月 3 1 日)

(単位：千円)

科 目	金 額	
I 事業損益		
A 本来業務事業損益		
1 事業収益		5,560,231
2 事業費用		
(1)事業費	5,450,580	
(2)本部費	0	5,450,580
本来業務事業利益		109,651
B 附帯業務事業損益		
1 事業収益		290,851
2 事業費用		305,445
附帯業務事業損失		△ 14,594
C 収益業務事業損益		
1 事業収益		0
2 事業費用		0
収益業務事業利益		0
事業利益		95,057
II 事業外収益		
受取利息	570	
その他の事業外収益	155,940	156,509
III 事業外費用		
支払利息	0	
その他の事業外費用	47,467	47,467
経常利益		204,098
IV 特別利益		
固定資産売却益	3,475	
その他の特別利益	131,700	135,175
V 特別損失		
固定資産売却損	0	
その他の特別損失	0	0
税引前当期純利益		339,273
法人税・住民税及び事業税	116,674	
法人税等調整額	0	116,674
当期純利益		222,599

(注) 1. 利益がマイナスとなる場合には、「利益」を「損失」と表示すること。

2. 表中の科目について、不要な科目は削除しても差し支えないこと。また、別に表示することが適当であると認められるものについては、当該事業損益、事業外収益、事業外費用、特別利益及び特別損失を示す名称を付した科目をもって、別に掲記することを妨げないこと。

様式 2

法人名 医療法人 並 木 会

※医療法人整理番号

2442

所在地 名古屋市天白区荒池二丁目 1 1 0 1 番地

財 産 目 録

(令和 5 年 3 月 3 1 日現在)

1. 資 産 額	10,665,918 千円	✓
2. 負 債 額	1,589,394 千円	✓
3. 純 資 産 額	9,076,524 千円	✓

(内 訳)

(単位：千円)

区 分	金 額
A 流 動 資 産	3,146,218
B 固 定 資 産	7,519,700
C 資 産 合 計 (A + B)	10,665,918
D 負 債 合 計	1,589,394
E 純 資 産 (C - D)	9,076,524

(注) 財産目録の価額は、貸借対照表の価額と一致すること。

土地及び建物について、該当する欄の□を塗りつぶすこと。

土 地 (□ 法人所有 □ 賃借 ■ 部分的に法人所有(部分的に賃借))

建 物 (■ 法人所有 □ 賃借 □ 部分的に法人所有(部分的に賃借))

監 事 監 査 報 告 書

医療法人並木会

理事長 並木 一代 殿

私たちは、医療法人並木会の令和4会計年度（令和4年4月1日から令和5年3月31日まで）の業務及び財産の状況等について監査を行いました。その結果につき、以下のとおり報告いたします。

監査の方法の概要

私たちは、理事会その他重要な会議に出席するほか、理事等からその職務の執行状況を聴取し、重要な決裁書類等を閲覧し、本部及び主要な施設において業務及び財産の状況を調査し、事業報告を求めました。また、事業報告書並びに会計帳簿等の調査を行い、計算書類、すなわち財産目録、貸借対照表及び損益計算書の監査を実施しました。

記

監査結果

- (1) 事業報告書は、法令及び定款（寄附行為）に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- (2) 会計帳簿は、記載すべき事項を正しく記載し、上記の計算書類の記載と合致しているものと認めます。
- (3) 計算書類は、法令及び定款（寄附行為）に従い、損益及び財産の状況を正しく示しているものと認めます。
- (4) 理事の職務執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款（寄附行為）に違反する重大な事実は認められません。

令和 5年 5月 29日

医療法人並木会

監事

浦 賢治

監事

長谷川 和重